

令和8年

安全安心なまちづくり関係功労者表彰

令和8年10月

警察庁・法務省

令和8年安全安心なまちづくり関係功労者表彰
表彰式次第

表彰式次第

- (1) 表彰状授与
- (2) 内閣総理大臣挨拶
- (3) 受賞者代表謝辞

～ 記念写真撮影 ～

令和8年安全安心なまちづくり関係功労者表彰

受賞者名簿

(個人、団体の順に五十音順)

【防犯活動】

- | | |
|------------------------------|---------|
| 1 赤平防犯協会 | (北海道警察) |
| 2 殖蓮地区安心安全パトロール連絡協議会 | (群馬県警察) |
| 3 関西外国語大学ボランティア団体ひまわり | (大阪府警察) |
| 4 京都府立京都すばる高等学校 サイバー防犯ボランティア | (京都府警察) |
| 5 桜ヶ丘ハイツ自警団 | (岐阜県警察) |
| 6 津田地区地域安全推進員会 | (島根県警察) |
| 7 長丘自治協議会 | (福岡県警察) |
| 8 ひのもののまなかパトロールの会 | (青森県警察) |

【再犯の防止等に関する活動】

- | | |
|-----------------------|-------------------|
| 1 西村 光行 | (鹿児島県警察) |
| 2 滋賀県地域生活定着支援センター | (大津地方検察庁) |
| 3 社会福祉法人 青葉仁会 | (近畿矯正管区) |
| 4 社会福祉法人 光風会 | (甲府保護観察所) |
| 5 東京フットボールクラブ株式会社 | (法務省矯正局) |
| 6 特定非営利活動法人 ワンファミリー仙台 | (仙台地方検察庁、仙台保護観察所) |
| 7 広島地区BBS会 | (広島保護観察所) |

※括弧内は推薦団体

功 績 概 要

団 体 名	赤平防犯協会
所 在 地	北海道赤平市
代 表 者	植村 正志
功 績 の 概 要	昭和 33 年、犯罪のない明るく住みよい社会の実現を理想とし、市民の防犯思想の高揚、犯罪予防を達成するために発足した。 主な活動として、計 11 台の青色回転灯等装備車による防犯パトロールのほか、通学路を中心とした徒歩パトロール及び子供の見守り活動を行っている。 また、団体で運営している民間交番「安全の駅」における小学生対象の不審者訓練を実施しているほか、関係機関等と連携し、市の水道使用量検針票に防犯広報文を掲載するなど、工夫を凝らした防犯活動を行っている。 さらに、クラウドファンディングにより資金調達を行い、街頭防犯カメラを設置、企業からの協賛を得て、防犯標語入りの広報啓発品を制作するなど、資金課題の解決に向けた取組を行っている。 同団体は、防犯パトロールなどの平時の活動に加えて、民間交番の運営、クラウドファンディングによる防犯活動資金の調達など、他の模範となる先進的な取組を推進し、安全安心なまちづくりの推進に大きく貢献している。

推薦者：北海道警察



功 績 概 要

団 体 名	殖蓮地区安心安全パトロール連絡協議会
所 在 地	群馬県伊勢崎市
代 表 者	小保方 直行
功 績 の 概 要	平成４年、地区に居住する子供の安全確保を目的として、有志を中心に発足した。 主な活動として、毎日、登下校時における通学路の見守り活動及び下校時間帯の青色回転灯等装備車による防犯パトロールを実施している。 また、下校時間帯のパトロールを終えた後には、危険箇所を中心とした夜間パトロールを行っており、同夜間パトロールについても常時精力的に行っている。 さらに、情勢に応じたテーマを選定し、大学教授や防犯担当警察官を招いての防犯研修会を開催し、構成員１人１人のスキルアップを図っている。 同団体は、構成員のスキルアップを図りながら、青色回転灯等装備車による防犯パトロール等の活動を献身的に実施しており、その活動は、他の模範となるものであり、安全安心なまちづくりの推進に大きく貢献している。

推薦者：群馬県警察



功 績 概 要

団 体 名	関西外国語大学ボランティア団体ひまわり
所 在 地	大阪府枚方市
代 表 者	ユゴビッチ 慈陽
功 績 の 概 要	平成7年、阪神・淡路大震災をきっかけに、被災地の子供の支援に関するボランティア活動を行う同好会として発足、以後、防犯活動、国際支援など、各種ボランティア活動に取り組んでいる。 主な活動として、危険箇所を中心とした徒歩パトロールに加え、地域団体と行政機関により運営している「放課後に一人で過ごす児童の見守り事業」における児童の見守り活動に従事している。 また、外語大学の強みを活かしたインターナショナルスクールにおける英語での防犯教室や、小学校におけるサイバー防犯教室など、幅広く防犯教育活動を行っている。 さらに、警察署等と連携し、特殊詐欺やひったくり、痴漢等の各種犯罪被害防止広報啓発活動に取り組んでいる。 同団体は、大学生ボランティアの中でも長きに渡り活動を継続している団体であり、行政による見守り事業への参加や、英語での防犯教室等、他の模範となる様々な活動を行っており、安全安心なまちづくりの推進に大きく貢献している。

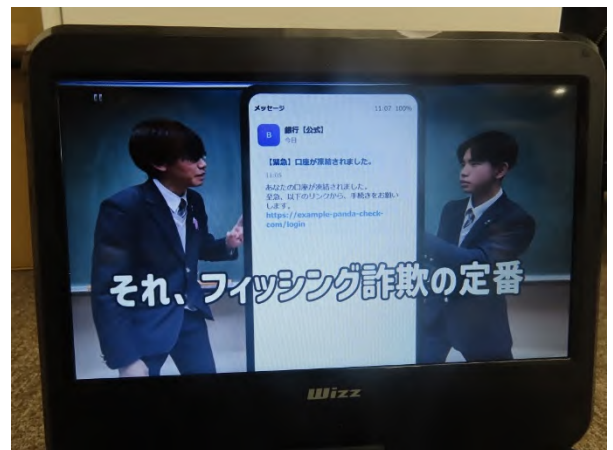
推薦者：大阪府警察



功 績 概 要

団 体 名	京都府立京都すばる高等学校 サイバー防犯ボランティア
所 在 地	京都府京都市
代 表 者	吉原 のどか
功 績 の 概 要	平成 29 年、3 年生を対象とした課題研究の中で「コミュニケーション・ラボ（啓発活動）」を設けたことを機に、生徒によるサイバー犯罪の被害防止等に関する啓発活動等に取り組んでいる。 主な活動として、幅広い世代に対する情報モラル教室を行っている。 小学校では、インターネットトラブルを題材にした教室を行い、シルバー人材センターや敬老会では、スマートフォンやインターネットの安全利用に関する講演を行っており、教室では、寸劇やゲームを取り入れるなど、工夫を凝らした講演活動を行っている。 また、啓発用教材として小学生向けの「デジタルすごろく」を制作し、同教材を情報モラル教室にも活用し、教育効果を高めている。 さらに、フィッシング詐欺の被害防止をテーマにした広報啓発動画を制作し、同動画を京都府内のデジタルサイネージを活用して放映する取組を行っている。 同団体は、高校生によるサイバー防犯ボランティアであり、情報モラル教室や広報動画の制作等、各種サイバー防犯活動に取り組み、高校生の視点による工夫を凝らしたサイバー犯罪被害防止活動は他の模範となるものであり、安全安心なまちづくりの推進に大きく貢献している。

推薦者：京都府警察



功 績 概 要

団 体 名	桜ヶ丘ハイツ自警団
所 在 地	岐阜県可児市
代 表 者	稲垣 悦雄
功 績 の 概 要	平成 9 年、商工会議所が中心となり、台風被害や店舗火災等に対応すべく発足。以後、平成 17 年には、団体内にパトロール隊を組織し、青色回転灯等装備車による防犯パトロール活動を推進している。 主な活動として、毎日、通学路において青色回転灯等装備車による防犯パトロールを実施しているほか、通学路における見守り活動を行っており、活動で把握した空き家や独居高齢者に関する情報は自治体等と共有した上で、これをマップにしてパトロールエリアにするなど効果的なパトロール活動を推進している。 また、年金支給日における特殊詐欺被害防止の広報活動や警察等と連携し、各種防犯イベントにおける広報啓発活動を行っている。 さらに、補助金を活用し、管内に 8 台の防犯カメラを設置・運用し、地域におけるハード面における防犯対策を推進している。 同団体は、地域において防犯カメラの設置に取り組んでいるほか、平時の防犯パトロール活動や見守り活動で得た地域の情報を関係機関と共有するなど、地域全体での防犯力を強化する取組を行っており、団体によるソフト、ハード両面における防犯活動は、他の模範となるものであり、安全安心なまちづくりの推進に大きく貢献している。

推薦者：岐阜県警察



功 績 概 要

団 体 名	津田地区地域安全推進委員会
所 在 地	島根県松江市
代 表 者	浅野 要一
功 績 の 概 要	平成 8 年、地域安全推進員による団体として発足。地域安全活動の推進を目的として、「犯罪等の防止活動」「地域安全情報の提供」等の活動を推進している。 主な活動として、小学校下校時間帯における青色回転灯等装備車による防犯パトロール、通学路における登下校見守り活動をほぼ毎日行っている。 また、イベントにおける防犯広報活動のほか、危険箇所の点検、有害環境浄化活動、特殊詐欺被害防止活動等、幅広い防犯活動を行っている。 さらに、同団体は、青色回転灯等装備車によるパトロール人員を確保するため、青色回転灯等装備車での活動を主として実施していない他の防犯ボランティア団体等に協力依頼を行い、交通安全協会、子どもを育てる会、小学校 P T A、パトロールママの会などと連携することで、特に保護者世代のパトロール実施者の増加につなげ、大規模な防犯パトロール隊を組織し、効果的なパトロールの実施に至っている。 同団体は、青色回転灯等装備車による防犯パトロールを主体とし、各種防犯活動を実施している団体であり、他の団体等と連携・協力することで、防犯活動の規模を拡大させている。 団体による工夫を凝らした効果的な防犯活動は、他の模範となるものであり、安全安心なまちづくりの推進に大きく貢献している。

推薦者：島根県警察



功 績 概 要

団 体 名	長丘自治協議会
所 在 地	福岡県福岡市
代 表 者	佐藤 克二
功 績 の 概 要	昭和 49 年、前身の「鴻の巣会」として発足、防犯組合や交通安全推進委員会を組織し、地域の安全・安心のため各種活動を推進。平成 16 年からは「自治協議会」として、地域の見守り活動やパトロール活動を推進している。 主な活動である青色回転灯等装備車による防犯パトロールは、従事者 220 名、年間 300 回、総走行距離約 3,000 キロと、精力的に活動している。 また、団体独自に緊急運行協力隊員制度を設け、地域における有事の際には、急な対応であってもパトロールを実施できる体制を構築し、小学校や警察からの緊急的な要請に対応している。 さらに、団体は次世代防犯ボランティアを育成するため、独自に中学生ボランティアクラブを組織し、中学生ボランティアによる防犯パトロールや環境浄化活動等を指導しながら合同活動も推進している。 同団体は、平時の青色回転灯等装備車による防犯パトロール等の活動に加え、独自に中学生ボランティアを組織、育成するなど、他の団体の模範となる活動を推進しており、安全安心なまちづくりの推進に大きく貢献している。

推薦者：福岡県警察



功 績 概 要

団 体 名	ひのもとのまなかパトロールの会
所 在 地	青森県上北郡東北町
代 表 者	蛭名 善二
功 績 の 概 要	平成 20 年、管内の駐在所が廃止されることを機に「自分たちの地域は自分たちで守る」を合い言葉に、前身団体である「千曳地区安全づくり協議会」を発展的に解消し発足した。 主な活動として、平日、休日を問わない青色回転灯等装備車による防犯パトロール活動や地区内の交通事故データを分析し、交通事故マップを作成、これを住民に還元するなどの交通事故抑止活動に取り組んでいる。 また、水難危険箇所の点検、巡回活動や事故防止に向けた看板設置、各種キャンペーンによる防犯、交通事故防止広報活動等の取組を行っている。 さらに、戸別訪問による安全点検活動では、特殊詐欺等の被害防止に関する防犯広報のほか、反射材貼付による交通事故抑止活動、漏電等の安全点検や冬期の雪害事故防止広報等、住民の安全安心に向けた総合的な活動を行っている。 同団体は、防犯を軸として、交通安全、雪害事故防止等、住民の安全安心の確保に向けた様々な分野の活動を総合的に推進しており、特に高齢者世帯に対する訪問活動は、地域住民から評価を得ており、その活動は他の模範となるものであり、安全安心なまちづくりの推進に大きく貢献している。

推薦者：青森県警察



功 績 概 要

氏 名	西村 光行
職 業	会社役員
功 績 の 概 要	昭和62年に鹿児島中央警察署少年補導員に委嘱され、平成23年から同署少年警察ボランティア連絡会会長、平成29年から鹿児島県少年警察ボランティア連絡協議会会長を務めた。 「農業体験を通じた立ち直り支援活動」として、非行少年が農作業を通じて人とのつながりの大切さなどを学ぶ居場所づくり活動の企画・実施に携わっており、自ら作業に参加して支援少年等に積極的に声をかけたりするなど他の少年警察ボランティアの模範となっているとともに、少年の再非行防止に多大な貢献をしている。また、日曜早朝城山登山・緑地帯清掃活動、繁華街での街頭補導活動、暴力団事務所撤去に向けた取組等を通じて、少年を見守る社会気運の向上にも貢献している。

推薦者：鹿児島県警察



功 績 概 要

団 体 名	滋賀県地域生活定着支援センター
所 在 地	滋賀県草津市
代 表 者	松田 裕次郎
功 績 の 概 要	平成 21 年設立。 平成 24 年から「大津プロジェクト」として全国に先駆けて入口支援を試行。同プロジェクト終了後も、滋賀県独自の事業として、弁護士や検察官から相談を受けて入口支援を行う枠組みを再構築し、現在まで継続的に実施している。 また、地域の関係機関を集めて「司法福祉連携会議」や「司法福祉アセスメント委員会」を実施し、地域における関係機関の協力体制を強固にしている。 さらに、令和 3 年から、性的な課題を抱える者を対象とした認知行動療法プログラム「Keep Safe」を独自に導入するなど、先進的な取組を継続的に展開している。

推薦者：大津地方検察庁



功 績 概 要

団 体 名	社会福祉法人 青葉仁会
所 在 地	奈良県奈良市
代 表 者	榊原 典俊
功 績 の 概 要	昭和57年、社会福祉活動団体として設立。 40年以上にわたり、障害者等の生きづらさを抱える方が地域の仕事や産業の担い手となることを通じて、自信や生きがいを持ち、社会参画を実現していく農福連携に取り組んでいる。 障害者だけではなく、刑務所出所者等についても積極的に受け入れ、農業等を通じた社会復帰の機会を創出している。 農業分野での刑務所出所者等の受入れの重要性を社会に発信し、多様な人たちが地域の担い手として活躍する社会を目指すパイオニアとしての役割を果たしていることに加え、矯正施設のレシピを活用した「監獄カレー」や刑務所作業製品の販売等、先駆的・先進的な社会復帰支援活動を行っている。

推薦者：近畿矯正管区



功 績 概 要

団 体 名	社会福祉法人 光風会
所 在 地	山梨県甲州市
代 表 者	熊谷 信利
功 績 の 概 要	平成3年の法人設立以来、高齢者・障害者・児童・生活困窮者支援等、幅広く福祉事業を展開する中、平成30年には同会が運営する施設が自立準備ホームとして登録されたほか、令和5年度からは山梨県から地域生活定着促進事業を受託しており、継続的に地域に根差した再犯防止の取組を実施。 また、同会自ら刑務所出所者を雇用した実績があり、雇用の受け皿としての役割を担っているほか、令和7年4月からは山梨県から「山梨県再犯防止相談支援窓口」業務を受託し、再犯防止に関する総合的な相談窓口業務を実施しているなど、再犯防止のための多角的な支援を推進しており、その功績は顕著であると言える。

推薦者：甲府保護観察所



功 績 概 要

団 体 名	東京フットボールクラブ株式会社
所 在 地	東京都調布市
代 表 者	白井 英介
功 績 の 概 要	東京都をホームタウンとするプロサッカークラブであるFC東京は、平成28年度から、多摩少年院において在院者を対象としたサッカー教室を実施している。 また、令和元年から、少年院在院者の社会復帰のサポートとして、FC東京の練習グラウンド等においてグラウンドの整備を行う職場体験の機会を提供している。 コロナ禍において、職場体験の実施を見合わせなければならぬ状況となった際にも、同クラブに所属していた元プロサッカー選手から在院者に向けて激励の言葉を伝える動画メッセージを届けるなど、プロスポーツクラブの特性を生かした先進的な矯正教育支援を継続的に展開している。

推薦者：法務省矯正局



功 績 概 要

団 体 名	特定非営利活動法人 ワンファミリー仙台
所 在 地	宮城県仙台市
代 表 者	立岡 学
功 績 の 概 要	平成14年から路上生活者への支援をするために夜回り活動を開始。生活困窮者支援を出発点として活動を展開する中で、自助のみでは社会復帰が困難な刑務所出所者等を支援するため、平成22年に宮城県からの委託を受けて宮城県地域生活定着支援センターを開所し、平成24年には自立準備ホームに登録した。加えて、平成30年には宮城県から居住支援法人の指定を受け、緊急的な生活の場の提供から安定した地域生活まで一貫した住まい支援を実施するなど、地域社会への円滑な定着に向けた幅広い支援を実施している。 対応困難なケースも積極的に受け入れ、県内に築いた幅広いネットワークを活用し、関係機関と連携しながら地域において孤立させない支援を実践し、再犯防止に貢献している。

推薦者：仙台地方検察庁、仙台保護観察所



功 績 概 要

団 体 名	広島地区ＢＢＳ会
所 在 地	広島県広島市
代 表 者	花之木 憲一
功 績 の 概 要	昭和 24 年設立。 長年にわたり、児童自立支援施設や児童養護施設、「特定非営利活動法人食べて語ろう会」が運営する「基町の家」等で定期的に学習支援やレクリエーションを実施しているほか、非行少年や様々な悩みを抱えた少年に対して「ともだち活動」を行うなど、多くの関係機関と連携しながら、子どもたちの非行防止活動を展開している。 令和 7 年度には、在院者・出院者の言葉をカレンダーにする「"あの日誓った"カレンダー」の作成を企画し、作成資金をクラウドファンディングによって集めるなど、先進的かつ独自性の高い取組によって再犯の防止等に大きく貢献したと言える。

推薦者：広島保護観察所

